

「地域の力を学校へ」推進事業の実践例（平成24年度実施分）



テーマ
Theme

「子ども安全教室
～正しい自転車の乗り方～」

学校・園名
School name

大津市立日吉台小学校(3・4年生)

講師等
Lecturer etc.

ヤマト運輸株式会社

実施日
Date

平成24年5月23日

教科等
Subject etc.

行事

授業 Class

自転車で横断歩道を渡る際の注意や、トラックの運転席から近距離でも見えない場所があることや、車が停止するまでに時間と距離を要することなどを体験学習しました。

代表の児童十数人が自転車での横断歩道の渡り方をみんなの前で披露すると、「右、左見てない(確認してない)からダメ」「渡る前に一端止まってないからダメ」と、見ている児童から口々に厳しいチェックが飛び交い、主体的に学習できた様子でした。

横断歩道では、後方などから右折・左折車が進入してきます。「右、左だけでなく、後ろから曲がってくる車がないかもチェックして、渡っている最中も、左右を確認しよう」と指導されると、子どもたちは横断歩道に見立てた白線の前で、細心の注意を払って周囲を確認していました。



感想 Impression

児童より Impression from Children

- 今まで自転車で乗りながら、携帯電話でメールしたり電話したりしてしまっていたので、気をつけるようにしたいと思いました。
- トラックのドライバーさんからは、見える範囲がとても狭いことがわかりました。横断歩道を渡る時、私は右後ろを見て渡ってなかったので、とても勉強になりました。
- 車がすぐに止まれないことを知りました。運転手が気づいてブレーキを踏むまでにも時間がかかるし、ブレーキを踏んでも車がすぐに止まれないから、飛び出したら引かれてしまうと思いました。
- 居眠りをしていたり、ちゃんと前を見てくれないドライバーがいるかもしれないから、変な動きをしている車が来たら、その場から逃げないといけないと思いました。

学校より Impression from school

担当者からもすぐに連絡があり、助かりました。事前の打ち合わせや当日の準備もしっかりして頂き、子どもたちにもわかりやすい説明でよかったです。時間の関係上、難しかったのですが、自転車の体験を全員ができればさらに良かったです。

講師より Impression from lecturer

交通安全教室を実施させて頂くことで、子どもも「安全」に対して少なからず関心を高めることができ、私たちも同様にプロのドライバーとして子どもを交通事故から守らなければならないという強い決意を持つことができました。